

環境を主とした「持続可能な消費」行動を具現化するための全国ネットワークによる啓発、調査、企業との交流活動、ウェブサイトとアプリを用いた消費者への情報提供活動

〒604-0934
京都府京都市中京区麩屋町通二条下る
第二ふや町ビル206号室
電話:075-211-3521
E-mail:life@kankyoshimin.org
http://www.kankyoshimin.org/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



東京でのエシカル消費公開セミナー

企業のエシカル通信簿の対象社数

12社

ぐりちょの商品群掲載数

15商品群

今年度計画の達成度

80%

活動の全体目標に対する達成度

95%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

「企業のエシカル通信簿」と「ぐりちょ」ともに幅広いテーマの知見が必要とされ、ネットワークメンバー全体での意見の調整、成果物の作成等のコーディネートに苦労した。

■ 工夫した点

ネットワークでのメーリングリストやスカイプ等コミュニケーションツールの積極的活用、事務局側のコーディネートとイベントでの役割分担、積極的なメンバーの自主的な行動。

課題

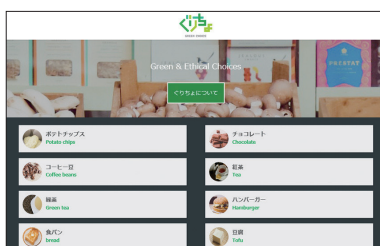
地球規模の環境問題、人権問題等を引き起こしている主な原因の一つである私たちの消費のあり方を、消費の主体者である消費者から持続可能なものに変えていく。

目標

消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワークの活動を活性化させ、地域での持続可能な消費セミナーの開催、企業のエシカル通信簿の作成と公表、ぐりちょの更新を図る。

活動内容と成果

●「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」のミーティングを6、9、11、3月に開催。内部研修会を9月に実施。●福島市と鳥取市と東京で持続可能な消費公開セミナーを実施。●持続可能な消費をテーマとしたESD教材を完成させた。●コンビニエンスストア事業者の売上上位4社、化粧品事業者の5社、宅配便事業者の3社をレイティングして、「企業のエシカル通信簿」として公表、3月に発表会を実施。●ぐりちょGreen & Ethical Choicesをブラッシュアップし、15品目を掲載した。



エシカル消費の検索サイト ぐりちょ

全助成期間の活動を振り返って

全国的环境NGO、消費者団体等と「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」が立ち上がり、各団体が個別テーマ、地域毎にアプローチしていた持続可能な消費に関わる問題に対して、包括的に解決を図ることが可能となった。企業のエシカル通信簿は企業やメディアの反応も良く、今後の社会的インパクトが期待できる。ぐりちょGreen & Ethical Choicesに対する消費者の関心も高く、期待できる。



企業のエシカル通信簿結果発表会

今後の展望

引き続き「企業のエシカル通信簿」の実施、「ぐりちょ」のユーザー拡大と内容充実を進めながら「消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク」のメンバー拡大、充実を図る。将来的に、海外で同様の活動をしているNGOとのネットワークの構築と共同行動、SDGsの理念に基づいた自治体の政策や「企業との対話活動」による企業へのエシカル商品・サービス提供への働きかけなど事業に影響力のある協働活動などをめざす。